

今年大型連休は、天

皇陛下のご即位と新元号の祝賀ムードに包まれた。日本国民の皇室への深い尊敬が改めて明らかになった。10連休という異例の長期休暇の中、「パケーション」の元々の意味合いである、心を空っぽにする感覚を味わった人も多かったのではないだろうか。

しかし、10連休の設定については、必ずしも皆がうれしかったわけではない。主婦はうれしくない方が多数派だったという調査もあった。4割を超す人々が収入減や

川本裕子

早稲田大  
大学院教授

経済サブリ

## 投資機会奪う市場10連休

業務へのしわ寄せを心配していた。多くの病院や保育園はお休みになり、ハンディがある人が、ハンディ施設の連休で体リハビリティ施設の連休で体が弱るという記事も見えた。配してはいた。多くの病院や保育園はお休みになり、ハンディがある人が、ハンディ施設の連休で体リハビリティ施設の連休で体が弱るという記事も見えた。

市場の相場は結果オーライで、日本企業が対する投資機会を奪われたこと、経済界が無関心なのに、気がなるところだ。強く休みにくいので、祝日も金融インフラを動かしたり、祝日を減らしたりして皆が交代で休みを取ったりする動き

電気、水道、ガス、ごみ収集、高速道路など生活インフラは当然のように稼働していた一方で、金融は一部の銀行と、外国株の取引を除いて全面的に休みだった。

10日間に世界的に大きな市場動揺はなく、株式市場でも2日半閉める方改革が本来目指すべき方向だろう。